禁無断転載　20230602　ワクチノーバ株式会社

IB 生ワクチン（H120G）

鶏伝染性気管支炎生ワクチン（シード）　2,000 羽分 / バイアル

本製品は要指示医薬品です。獣医師の処方箋・指示に従ってお使いください。
ご使用の際には本製品の添付文書をよくお読みください。

●ワクチン接種/投与方法の特徴

★点眼・点鼻接種の利点

1羽ずつ確実に鶏に免疫を付与可能
病原体の侵入経路にある粘膜に直接働きかける
特に点眼接種では免疫組織であるハーダー腺を刺激

⟷ 作業者の負担大きい[1]。

★飲水投与の利点：省力化が可能

⟷ 投与前の給水停止、飲用水の調製などの準備に注意が必要[1、2]。

●接種/投与の注意点：次のことに注意してください。

★点眼・点鼻接種

確実にワクチン液が吸い込まれたことを確認してから、鶏を放してください[1、3]。
鶏が眼を閉じたとき・息を吐いたときにワクチンを滴下した場合、やり直してください。

★飲水投与

ワクチン投与の24時間前からは、一切の投薬や消毒剤の使用を避けてください[3]。
飲用水には極端な酸性又はアルカリ性でないもの、微生物の汚染が少ないものを使用し、カルキを除去してください[1]。
ワクチンは2時間以内に飲みつくされるよう以下の準備をしてください[1、3]。

・ワクチン投与前には2～3時間程度給水を止め、軽く鶏ののどを渇かす。
・飲水量は季節/鶏種/日齢によって異なるので前もって適切な水量を把握しておく。

★ワクチン調製後

時間経過とともにワクチンウイルスは失活するので、できるだけ早く鶏に投与してください[1、3]。

★干渉作用＝ワクチン効果が抑制される恐れ

本製品とND*生ワクチン、または血清型の異なる他のIB‡生ワクチンの同時接種/投与は避け、接種/投与間隔を1週間以上あけてください。弊社製品「NB生ワクチン(B_1+H120G)」の場合はこれらの点も考慮の上開発されているので問題はありません。

*：ニューカッスル病　　‡：鶏伝染性気管支炎

参考資料
1. Disease of poultry 12th edition by Y. M. Saif (Editor) et al,
2. 鶏用ワクチンの正しい使い方 153章　旧（社）動物用生物学的製剤協会
3. IB生ワクチン（H120G）添付文書

製造販売
vaxxinova japan
veterinary prevention strategies

お問い合わせは弊社まで
ワクチノーバ株式会社
〒東京都港区浜松町1丁目24ー8
TEL 03-6895-3715　FAX 03-6895-3711
https://www.vaxxinova.co.jp　Mail contact@vaxxinova.co.jp

禁無断転載　20230602　ワクチノーバ株式会社

劇 動物用医薬品　要指示医薬品　指定医薬品

IB 生ワクチン（H120G）

鶏伝染性気管支炎生ワクチン（シード）　　2,000 羽分 / バイアル

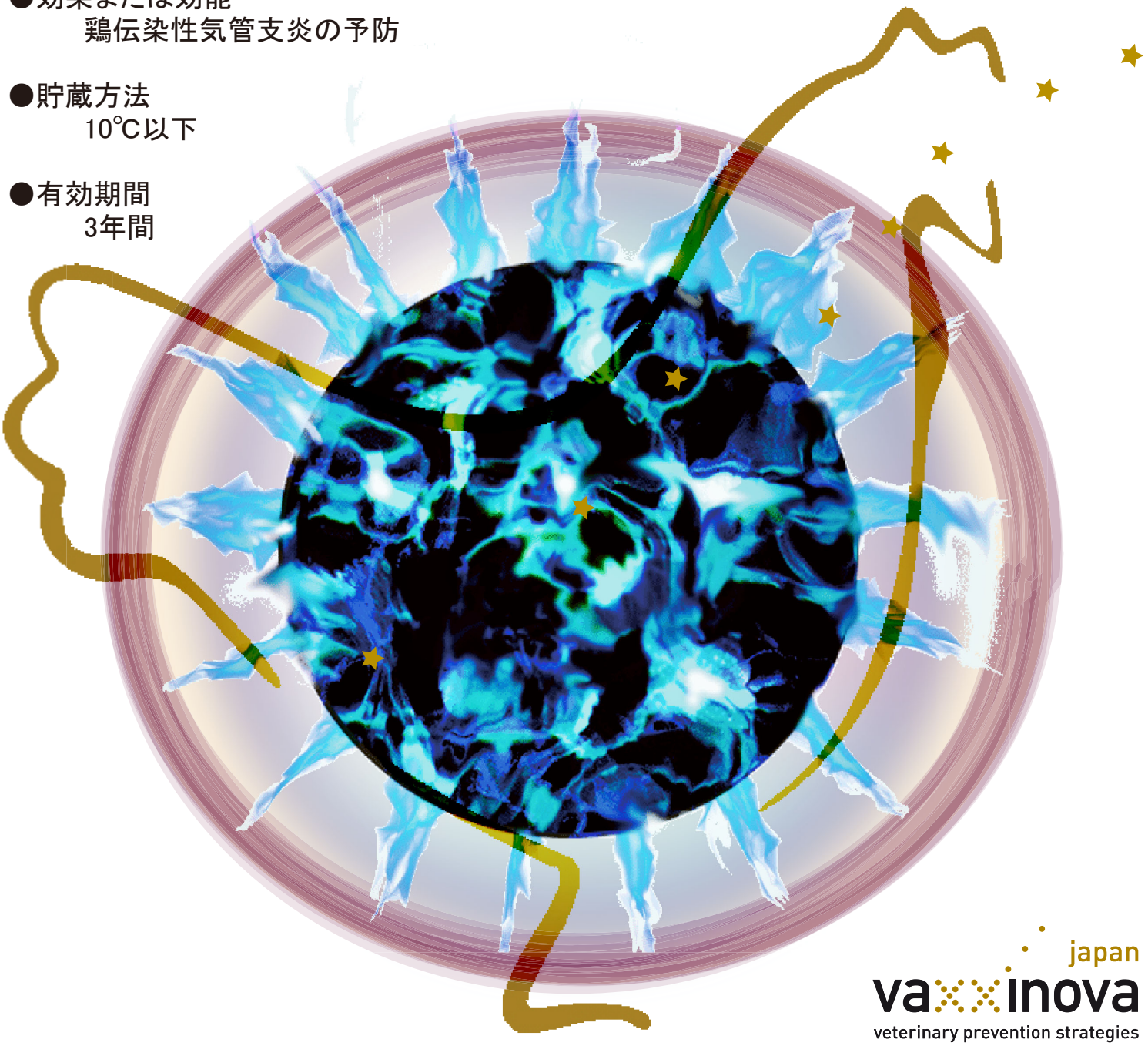
●主剤
弱毒鶏伝染性気管支炎ウイルスH120G株（シード）
2,000羽分中　$10^{6.8}EID_{50}$以上

●用法及び用量
・飲水投与（1日齢以上の鶏）
・点眼・点鼻接種（1日齢以上の鶏）

●効果または効能
鶏伝染性気管支炎の予防

●貯蔵方法
10℃以下

●有効期間
3年間



japan
vaxinova
veterinary prevention strategies